



## 登録文化財保存活用シンポジウム（第2回）

# 「宿泊施設としての文化財の活用」

**参加費  
無料**

文化財の宿が人気を集めているようです。今年度2回目のシンポジウムでは文化財を宿泊施設として活用している事例について、秋田と愛知の方から話題提供いただき、その意義や今後について考える場になればと考えています。

今回も会場開催とオンライン開催を併用します。皆さまのご参加をお待ちしております。

◆日時 2023年2月7日（火）14:00～16:30



◆会場 愛知県立大学サテライトキャンパス

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 愛知県産業労働センター（ウィンクあいち15階）

◆参加費無料 募集定員20名（先着順）

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場でのマスク着用と手指消毒を徹底するとともに、定員を絞って開催します。このため、Zoomを使った配信も併せて行います。会場の定員に達して以降はオンラインでの参加をお願いします。

### ◆プログラム

開催時間	講師・内容	
14:05～ 14:50	<b>国登録有形文化財を宿泊施設にする意義</b> 講師：小山田明氏（秋田登文会事務局、強首温泉 樅峰苑） みちのくの秘湯・強首、大正ロマンの香り漂う登録有形文化財の宿「樅峰苑」。古くから自宅を宿泊施設としながら、文化財を保存活用していく手法について解説。 ※リモートで参加	
14:50～ 15:35  (休憩)	<b>特殊な建物をホテルにした事例とその活用</b> 講師：藤巻満氏（株式会社アメーバホールディングス 代表取締役） 12月に重要文化財になった名古屋テレビ塔。2020年の改修工事の際に世界でも珍しい塔の中にホテルをオープン。特殊な建物で宿泊施設を運営・活用する事の意義、想いなどを解説。	
15:45～ 16:30	<b>意見交換</b> 愛知登文会小栗会長をコーディネーターとして、参加者の皆さんも交えて意見交換を行います。	

### 参加方法

以下の申込フォームより、2月5日（日）24時までにお申し込みください。

<https://onl.sc/nV7qwEr>

（右のQRコードからも申込が可能です）

メール、FAXでの申込も受付します。



参加申込書（メール：[info@aichi-tobunkai.org](mailto:info@aichi-tobunkai.org) FAX：052-961-0561）

お名前		TEL	
種別（○印を）	正会員 特別会員 賛助会員 その他	E-mail	
申込区分（○印を）	会場参加 定員に達した場合 オンライン参加希望	会場参加 定員に達した場合 オンラインでは参加しない	オンライン参加

※ご記入いただいた個人情報は、本イベント以外の目的では使用せず、第三者には提供いたしません。

愛知登文会事務局 名古屋テレビ塔株式会社内  
 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目6番15号先  
 TEL (052)-971-8546 FAX (052)-961-0561  
 E-mail [info@aichi-tobunkai.org](mailto:info@aichi-tobunkai.org)  
 ホームページ <http://www.aichi-tobunkai.org/>

◇主催  
 愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会